

栗林貞一 こしきんさち 能樂評論家。明治二十五年十月二十日奈良縣生乳（一九一二年）。東京外國語學校中退。大正五年朝日新聞社入社、爾來約二十
年大阪、東京、名古屋各木支社勤務。戰後社友、大阪本社社史編修室
囑託。傍ら能樂協會に加盟し能樂研究に従事、また國語改善委員會會
長として國語問題にも關心を有^す。號春陵。

譯著書に、『クープリン傑作集』（譯、大正九年六月十五日天祐社）、
『能謠名所舊跡』（昭和二十五年八月五日繪書店）、『續能謠名所舊
跡』（昭和二十九年四月十日繪書店）等。

